

まちづくり意見交換会の要旨

1. 開催目的

少子高齢化、人口減少など本市を取り巻く厳しい社会情勢においても、将来に渡り様々な住民サービスを維持していくために、現状及び将来における都市構造上の課題についての共通認識、コンパクトなまちづくりを進める方向性および手法について理解を得ることを目的として、意見交換会を開催した。

2. 開催日時及び場所

- 第1回 平成29年12月10日(日) 10:00～ 竹原市民館
 第2回 平成29年12月10日(日) 14:00～ 忠海公民館
 第3回 平成29年12月11日(月) 19:00～ 吉名公民館
 第4回 平成29年12月12日(火) 19:00～ 大乘公民館
 第5回 平成29年12月13日(水) 19:00～ 荘野公民館
 その他 住民自治組織交流会での説明(市内17自治組織が参加)
 中通小学校でのコンパクトなまちづくり勉強会)



3. 周知方法

竹原市全域へ案内チラシの全戸配布、竹原市ホームページでの広報支所、出張所、公民館などの公共施設へのポスター掲示

4. 参加者数

5回合計 28名 交流会 40名 総計 68名(中通小は除く)



5. 説明概要

- (1) 立地適正化計画を策定する背景と課題
- (2) 現状及び将来見通しにおける都市構造上の課題分析
 - 人口の推移、空き家の状況、都市機能の立地状況、地価の推移、公共施設の老朽化状況、災害リスク
- (3) 居住するにあたって利便性の高い区域(案)について
 - 公共交通の利便性、人口密度、都市機能の立地、災害リスク等を考慮して設定
 - 北部拠点については、居住誘導区域を設定しないと説明
- (4) コンパクトシティの留意点
 - 居住の誘導を図る想定されるターゲットについて説明
- (5) コンパクトシティを実現するための方針
 - 3つの基本方針 都市機能の集積・維持、賑わいの創出、良好な居住環境
- (6) コンパクトシティを実現するための具体的な取り組みについて
 - ①都市機能の集積・維持 公共施設ゾーン、こども園、利便性の高い公共交通の検討 等
 - ②賑わいの創出 町並み保存地区での賑わい創出、大久野島の観光客の回遊性、公的不動産の有効活用 等
 - ③良好な居住環境 新開土地区画整理事業、空き家対策 等

6. 意見交換概要

住民意見	市回答
<p>【他計画や庁内関係課の連携について】 竹原市総合計画や他計画と整合性が図れているのか？</p>	<p>コンパクトなまちづくりは総合計画にも位置づけられているものであります。立地適正化計画でまちづくりの方向性を示し、庁内 14 課で検討し、各種計画や施策と連携してコンパクトなまちを実現していこうとするものです。</p>
<p>【中心市街地の活性化について】 中心市街地の活性化は重要であるとの説明があったが、具体的な施策はあるのか？</p>	<p>都市機能の集積、賑わいの創出、良好な居住環境の3つ基本方針のもと、現市役所跡地への複合施設整備や魅力あるこども園整備、歴史的資源の有効活用、利便性の高い公共交通の検討等に取り組んでいきます。</p>
<p>【空き家対策について】 空き家対策は重要であると考え、積極的な取組をしなければコンパクトシティの実現は難しい。具体的にどのような施策を実施するのか？</p>	<p>昨年度空き家の件数等の実態を調査し、「竹原市空き家等対策計画」を策定し、今年度は具体的な施策を検討し、実施計画を策定している段階です。現時点で、具体的な内容は示せないが、都市のスポンジ化を防ぐため、重点的に取り組んでいきます。</p>
<p>【若者や子育て世帯の市外への転出対策について】 若者や子育て世帯が進んでいるように思うが、どのような対策を考えているのか。 人口減少への対策であるが、人口増を目指す取り組みはしていないのか。</p>	<p>若年層にとって魅力あるまちにするためには、商業施設や教育施設を維持していくことや、子育て環境の充実はかることが重要であります。そのため、こども園や複合施設整備など、子供たちにとっての魅力ある施設整備に取り組んでいきます。 コンパクトなまちづくりは人口減少下においても、一定の住民サービスが提供できることを目標とし、まちの魅力向上を図りながら、市外からの定住・移住の促進など居住の緩やかな誘導を図りながら、人口密度を維持していこうと考えております。</p>
<p>【北部のまちづくりについて】 北部地域では、公共交通の路線が維持できるのか、将来運転できなくなったときの危機感を感じるため、北部地域に住みながら快適に過ごせるような環境づくりにも取り組んでほしい。</p>	<p>福祉バスや乗合タクシー等、きめの細かい公共交通が必要になってきており、便利地域へのアクセスを一定程度確保することは重要であります。 北部地域は田園地域等の地域性があり、都市部と同様の施策は馴染まないと考えます。田畑の真ん中にアパートを建てるような開発は抑制していき、北部の特徴に合った施策を実施していきたいと考えています。</p>
<p>【開催方法について】 参加者が少ないのは、周知方法などに問題があるのではないかと。 より多くの住民の意見を反映できるように工夫が必要ではないかと。</p>	<p>11月に住民自治組織意見交換会での説明及び5地区での開催についてのアナウンス、12月広報にあわせての市内全戸配布、各会場や支所・出張所へのポスター掲示などを実施してきました。今回の意見交換会で全て終了ではなく、今後も出前講座で対応していこうと考えています。</p>